



自由の鐘

鶴岡市立鶴岡第三中学校
令和6年3月15日 発行
校訓 「切磋琢磨」

204名の卒業生が羽ばたきました



3月14日(木)に第52回卒業証書授与式が行われました。

卒業生の態度や歌声から、成長した姿を見せることで保護者や地域の方に感謝を伝えようとする気持ちが伝わってきました。また、在校生の姿勢や凛とした雰囲気が式を厳かなものにしてくれました。

在校生の皆さんはそれぞれ進級し、3年生は三中の顔となり、2年生は3年生を支える立場になります。4月からは「自律・共生・創造」の学校教育目標のもと、切磋琢磨し互いを高められる学校生活を送っていきましょう。

校長式辞より

はじめに、1月1日、能登半島地震において亡くなられた方々のご遺族の皆さまに対し、深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。そして、本校生徒のみなさんからの温かな善意が、被災地の皆さまの心にも届き、一日も早い復興が成されることを心より、お祈り申し上げます。

さて、例年になく寒暖の差が激しかった冬を越え、穏やかな春の訪れを感じる季節となりました。

本日は、公私ともにご多用の中、本校PTA会長 野口 義明 様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席と、保護者の皆様のご列席を賜り、第52回卒業証書授与式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

204名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。今、卒業証書を受け取った時の、皆さんの凛とした姿と力強い瞳の奥に、これからの道を、自分の足で進んでいこうとする強い決意を感じました。

卒業生の皆さんは、長い歴史のある本校のよき伝統をしっかりと受け継ぎ、今年度は最上級生として、自らの姿で後輩たちに範を示してくれました。

スポーツ・フェスティバルで見せた、力強くそして温かく下級生を励まし、まとめ上げるリーダーシップや、相手の軍を敬い、互いにたたえ合う姿は、さわやかであり見事でした。

田川地区の合唱発表会では、実行委員を中心に自主的な練習を重ね、本番に臨みました。大きな緊張の中、かけがえのない仲間とともにステージに立つことのできる喜びの気持ちも一緒に、明るく伸びやかな歌声に乗せて、会場一杯に届けてくれました。

それは、合唱祭においても同じでした。自分たちの曲に、そして学級に、愛着と誇りを持ち、各パートの良さをお互いに引き立たせる美しいハーモニーを響き渡らせ、聴く人の心を震わす、素晴らしい合唱と合奏を創り上げてくれました。

そして何より、日常の力を行事に生かし、行事で伸ばした力を日常生活の向上につなげる大切さを皆さんは示してくれました。

下級生は上級生の姿を見て学びます。それが伝統や校風となってつながれていきます。在校生もきっと皆さんの後に続き、この鶴岡第三中学校をさらに一歩、前へと進めてくれることでしょう。

さて、義務教育を終え、自ら選んだ道を歩み始める皆さんに望むことを、二つお話しします。

一つは、「今を一所懸命に生きる」ということです。

時間というものは、今、この瞬間から明日へ、五年後の自分へ、そして十年後の自分へと途切れることなくつながっていきます。目を覚ますと、夢に描いていた自分になっていた、ということはあり得ません。

私が昔から、いつも心に留めている言葉は「未来は今日の積み重ね」という言葉です。

みなさんはこれから、将来の夢や目標の実現に向けて、そしてなりたい自分の実現に向けて、歩んでいきます。その道のりは決して楽しい事ばかりではなく、悩み戸惑い、途中で立ち止まることもあるでしょう。後戻りすることもあるかもしれません。でもそうした時もあるからこそ、時間は続き、あなたの未来へとつながっていきます。どんなときも簡単にあきらめず、耐えるときには耐え、今という時間を、今日という日を一所懸命に生きる。それを繰り返し、積み重ねた先にこそ、自分の思い描く未来があるということを忘れずに頑張ってください。

二つ目は、「豊かな心を持つ」ということです。

豊かな心というのは、美しい物に感動し、感謝の気持ちを持って、前向きに生きようとする心。そして自分も相手も、どちらも大切にすることを大切に思います。

今、人工知能「AI」が、20年以内に約50%の確率で、人間の能力を超えられていると言われています。そして、AIも訓練すれば、人に共感できるような力を持つかもしれないとも言われています。

しかし私は、例えばAIが、言われたことに対しては共感できたとしても、例えば、相手が何も言わなくても、表情やしぐさから相手の気持ちを想像して、声をかけたり、あえて何も言わずに見守ったり、黙って肩に手を置いたり、そのような相手と心を通わせるということは、人間でなければ、できないことだと思っています。どのような社会が来ようとも、人と人との心のつながりを大切にして、相手を理解し、思いやれる、心の豊かな人になってください。

保護者の皆様に申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

義務教育を終えようとするこの時を迎え、15年の間、我が子と過ごした日々を思い、感慨もひとしおのことと、ご推察申し上げます。

特に、思春期の真ただ中にいたこの三年間は、子どもと共に笑い、喜び、そしてまた悩んだ日々でもあったかと思えます。でも子どもたちは、一人ひとり確かに成長しました。これもひとえに、ご家族や保護者の皆様の深い愛情、そして地域の皆様からの温かな支えがあってこそその賜物だと思っております。これまで本校の教育活動に対しまして、温かなご支援、ご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後に、卒業生のみなさん、嬉しい日もつらい日もともに過ごし、一緒に笑い、涙した仲間との、中学校生活は終わりを迎えますが、今年の生徒会スローガンである「突破」に込めた「新しい自分、新しい世界に、歩みを進めよう」という思いそのままに、最初の一步を力強く踏み出してください。将来、素敵な大人になったみなさんと、再会できることを、楽しみにしています。

保護者の皆様、地域の皆様に対し、心からの感謝を申し上げ、卒業生の輝かしい未来を祈念し、式辞といたします。

令和6年3月14日

鶴岡市立鶴岡第三中学校長 加藤 弘人